



個人投資家説明会資料

テクマトリックス株式会社（東証プライム 3762）
<http://www.techmatrix.co.jp/>

01

会社概要

02

業績推移と計画

03

当社グループの事業領域

04

SDGs、環境への取り組み

05

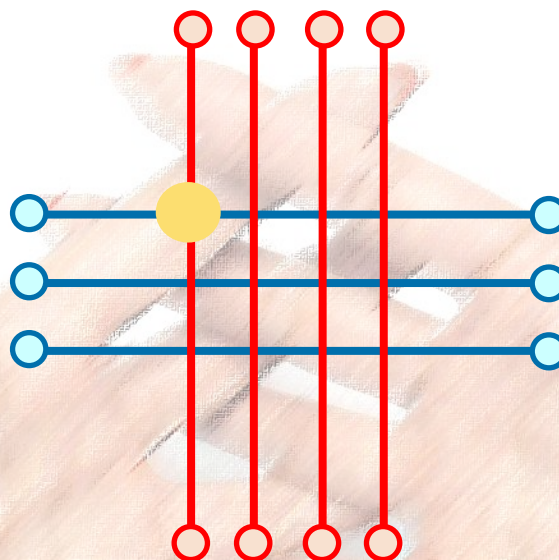
株価情報と配当等

Techmatrix

Technologyと垂直市場のMatrix

○垂直市場〔縦軸〕
(vertical market)

- 製造業
- 医療
- CRM
- 通信
- 金融
- ・
- ・
- ・

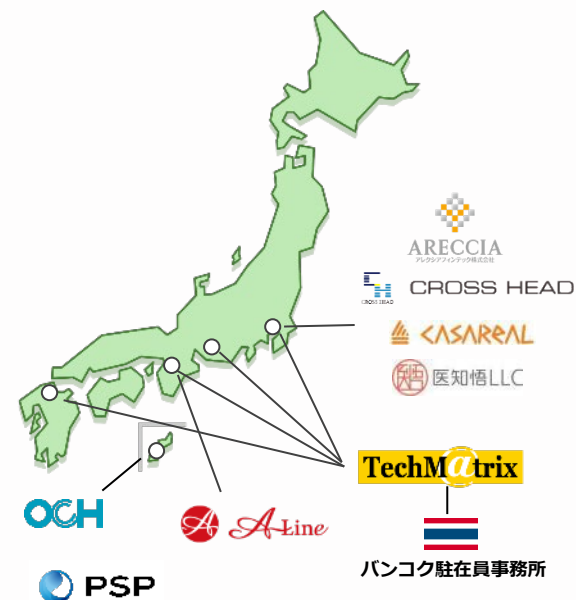


○テクノロジー〔横軸〕

アプリケーション	ビジネス・プロセスを効率的・効果的に機能させるためのソフトウェア	業務支援ソフト・テストツール・BI・AI	SaaS
ミドルウェア	アプリケーションの開発・実行に共通して使用されるソフトウェア	データベース・API クラウドストレージ CDN	PaaS
インフラ ストラクチャー	ソフトウェアを稼働させるためのハードウェアや設備	サーバー・ストレージ ネットワーク機器 セキュリティ対策	HaaS IaaS

商号	テクマトリックス株式会社（東証プライム：3762）																							
設立	1984年8月30日																							
資本金	12億9,812万円																							
代表者	由利 孝																							
本店	東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス24F																							
支店・営業所	西日本支店（大阪） 名古屋営業所（愛知） 九州営業所（福岡） バンコク駐在員事務所（タイ）																							
従業員数	1,442名 [138名] *（連結）（2022年12月末現在） *従業員数は就業人員。従業員数欄の [外書] は、 臨時従業員（派遣社員・契約社員を含む）の平均雇用人数。																							
発行済株式総数	44,518,400株																							
決算期	3月（第37期 有価証券報告書よりIFRS適用）																							
役員構成	監査等委員会設置会社 / 執行役員制度																							
	<table border="0"> <tr> <td>代表取締役</td> <td>由利 孝</td> <td>取締役</td> <td>依田 佳久</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>矢井 隆晴</td> <td>取締役</td> <td>鈴木 猛司</td> </tr> <tr> <td>社外取締役</td> <td>安武 弘晃</td> <td>社外取締役*1</td> <td>海部 美知</td> </tr> <tr> <td>社外取締役*1</td> <td>堀江 愛利</td> <td>社外取締役*2</td> <td>佐々木 英之</td> </tr> <tr> <td>社外取締役*2</td> <td>高山 健</td> <td>社外取締役*2</td> <td>三浦 亮太</td> </tr> <tr> <td>社外取締役*2</td> <td>杉原 章郎</td> <td>*1：女性取締役</td> <td>*2：監査等委員</td> </tr> </table>	代表取締役	由利 孝	取締役	依田 佳久	取締役	矢井 隆晴	取締役	鈴木 猛司	社外取締役	安武 弘晃	社外取締役*1	海部 美知	社外取締役*1	堀江 愛利	社外取締役*2	佐々木 英之	社外取締役*2	高山 健	社外取締役*2	三浦 亮太	社外取締役*2	杉原 章郎	*1：女性取締役
代表取締役	由利 孝	取締役	依田 佳久																					
取締役	矢井 隆晴	取締役	鈴木 猛司																					
社外取締役	安武 弘晃	社外取締役*1	海部 美知																					
社外取締役*1	堀江 愛利	社外取締役*2	佐々木 英之																					
社外取締役*2	高山 健	社外取締役*2	三浦 亮太																					
社外取締役*2	杉原 章郎	*1：女性取締役	*2：監査等委員																					

テクマトリックスグループ



北海道、青森、岩手、宮城、山形、福島、栃木、群馬、埼玉、東京、神奈川、山梨、長野、新潟、金沢、静岡、愛知、三重、大阪、鳥取、広島、香川、愛媛、福岡、熊本、鹿児島、沖縄、タイ、シンガポール、ネパール

東京本社



西日本支店



1980

1984年 8月 ニチメン株式会社（現双日株式会社）の営業部門子会社
「ニチメンデータシステム株式会社」として設立

1990

1996年12月 CRMパッケージ「FastHelp」を自社開発し販売開始
1998年10月 医用画像サーバ「Secured DICOM Server」を自社開発し販売開始

2000

2000年 7月 ニチメン株式会社が保有株式をITX株式会社に売却（同社の連結子会社へ）
2000年11月 社名を「テクマトリックス株式会社」へと変更
2001年 2月 関係強化を目的に、楽天株式会社に第三者割り当て増資を実施
2005年 2月 ジャスダック証券取引所に上場
2007年 8月 合同会社医知悟を設立
2008年 1月 クロス・ヘッド株式会社を連結子会社化
2009年 8月 株式会社カサリアルを完全子会社化

2010

2010年 6月 東京証券取引所 市場第二部に上場
2013年 2月 東京証券取引所 市場第一部に指定
2014年 3月 クロス・ヘッド株式会社、沖縄クロス・ヘッド株式会社を完全子会社化
2015年 8月 楽天株式会社の保有する当社株式の大半を自己株式として取得
2018年 4月 医療システム事業を会社分割によって株式会社NOBORIへ承継
タイ・バンコクに駐在員事務所設立
2019年11月 山崎情報設計株式会社を子会社化

2020

2020年10月 九州営業所開設
2022年 2月 PSP株式会社の株式を取得し同社を連結子会社化
2022年 4月 PSP株式会社を吸収合併存続会社とし、PSP株式会社と株式会社NOBORIを事業統合
沖縄クロス・ヘッド株式会社が社名をOCH株式会社へと変更
2022年12月 山崎情報設計株式会社が社名をアレクシアフィンテック株式会社へと変更
本社を東京都港区港南へ移転

Mission Statement

より良い未来を創造するITのプロフェッショナル集団

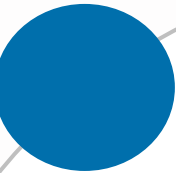
行動指針

- 共存・共栄の精神のもと、誠実、かつ真摯に顧客貢献・社会貢献に取り組む
- 常に謙虚に学ぶ姿勢を忘れず、新しい技術や新しいビジネスに挑戦し続ける
- オープンな議論を交わし、全員がチームの成功と成長にコミットする

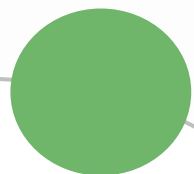
事業セグメント（テクマトリックスグループ）

ネットワークセキュリティ

- 最先端のネットワーク／セキュリティ製品の提供
- 安全な情報基盤を構築
- 24時間365日の運用監視サービスの提供



情報基盤事業



医療システム

医療

- 医用画像管理システム（PACS）の提供
- PHRサービスの提供
- 遠隔読影のプラットフォームを提供



CRM

- コンタクトセンター向けの問合せ管理システムの提供
- FAQナレッジシステムの提供



アプリケーション・サービス事業

教育

- スクール・コミュニケーション・プラットフォーム「ツムギノ」の提供



ソフトウェア品質保証

- IoT時代の組み込みソフトウェア品質保証のためのテストツールの販売



ビジネスソリューション

- インターネットサービス、金融分野でのソリューション提供



子会社名 (持ち分比率)	事業内容
<p>PSP株式会社 (50.02%)</p> <p>※2022年4月1日に、PSP株式会社を吸収合併存続会社とし、PSP株式会社と株式会社NOBORIを事業統合</p> 	<p>医療機関で撮影されたCT、MRI画像などの医療情報を、安全に管理・利用できる画像管理システム「EV Insite」およびクラウドサービス「NOBORI」、医療機関を支援するクラウドサービス「NOBORI PAL」の提供。患者（個人）向けに、PHRサービスの提供</p>
<p>合同会社医知悟 (新生PSPの95.0%子会社)</p> 	<p>遠隔画像診断を支援するIT情報インフラの提供、遠隔画像診断に対する業務支援情報サービス等の提供</p>
<p>株式会社A-Line (新生PSPの84.1%子会社)</p> 	<p>医用画像データから取得できる医療被ばくの情報、検査単位・個人単位でクラウドに記録し、他の医療機関との線量情報を比較・参照することで、検査の最適化を促す、クラウド型線量管理システム『MINCADI』の提供</p>
<p>エムスリーAI 株式会社 (新生PSPの40.0%子会社) ※持分法適用会社</p> 	<p>プラットフォームとして、さまざまな画像診断支援AIサービスを提供</p>
<p>クロス・ヘッド株式会社 (100.0%)</p> 	<p>ITシステム基盤のコンサルティング・設計・構築、海外IT製品の輸入・販売・サポート、ネットワークエンジニア派遣、ハウジング・リモート監視・運用・ディズスタリカバリーサービス、運用・監視業務コンサルティング・一括業務請負、マルチベンダー対応の全国オンサイト保守サービス、IT技術者教育・育成等</p>
<p>OCH株式会社 (クロス・ヘッドの100.0%子会社) ※2022年4月1日に社名変更。 (旧：沖縄クロス・ヘッド株式会社)</p> 	<p>ネットワークシステムのコンサルティング・設計・構築・保守、24h・365dフルマナー運用監視サービス、クラウドによる各種ソフトウェアサービス (SaaS)、システムインフラ (IaaS)、GIX (沖縄 - 香港直結高速回線インフラ) サービスの提供</p>
<p>株式会社カサレアル (100.0%)</p> 	<p>オープンソースソフトウェアによるシステム開発、IT技術者の教育等</p>
<p>アレクシアフィンテック株式会社 (51.0%) ※2022年12月1日に社名変更。 (旧：山崎情報設計株式会社)</p> 	<p>金融工学と情報技術の重なる領域でのシステム企画、設計に強み。豊富な業務ノウハウが組み込まれた Apreccia シリーズを中心に事業を展開</p>

本日のご説明内容

01

会社概要

02

業績推移と計画

03

当社グループの事業領域

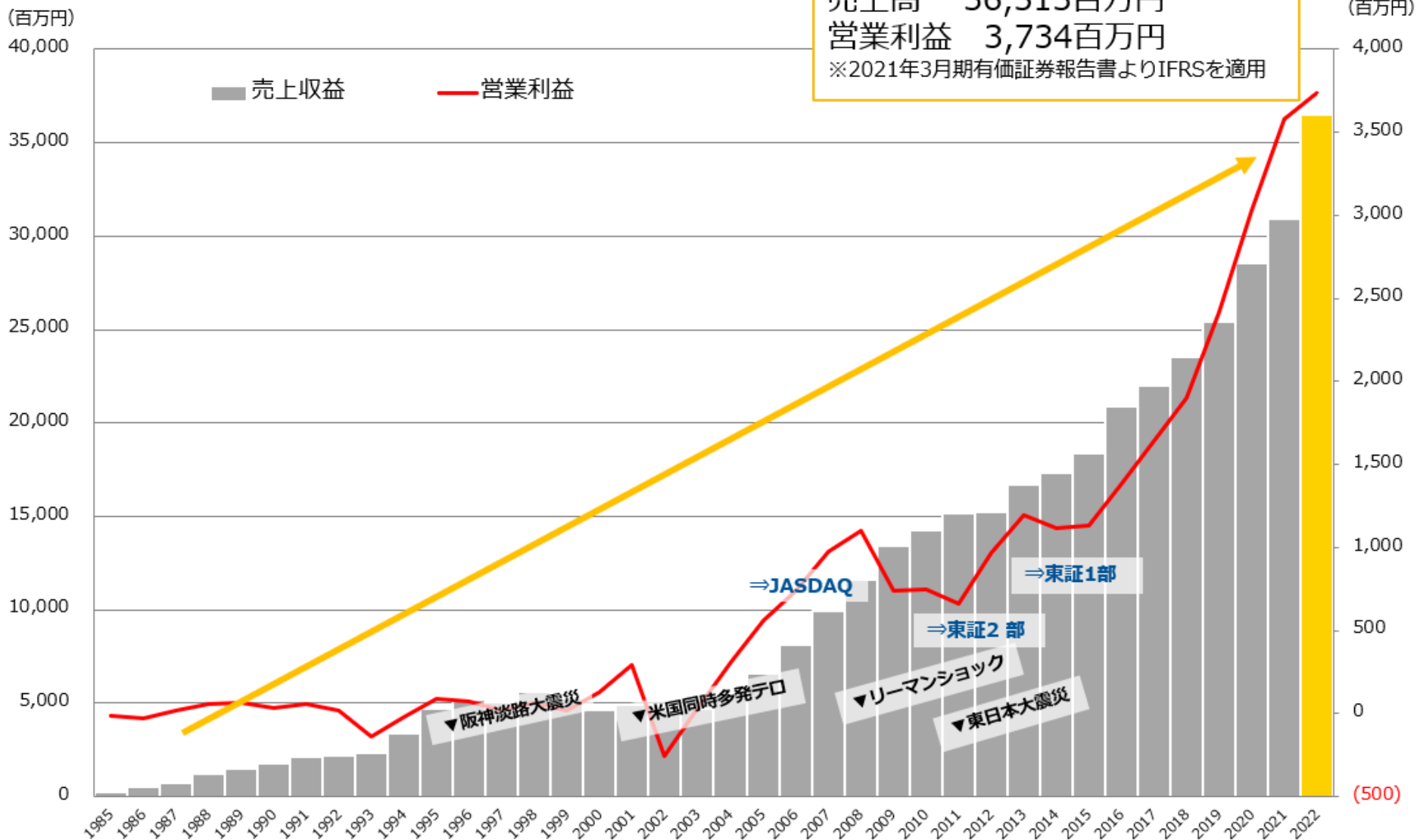
04

SDGs、環境への取り組み

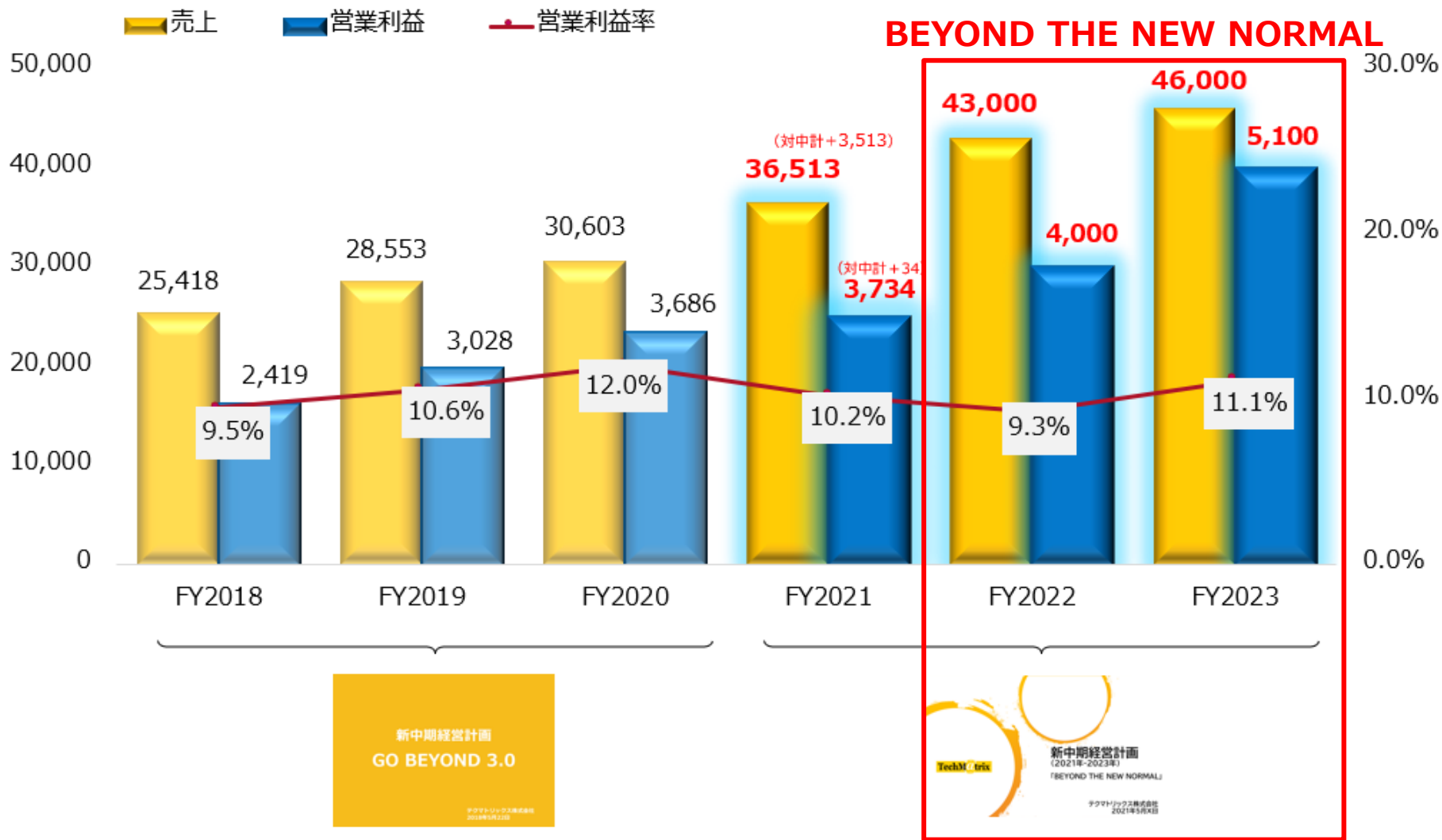
05

株価情報と配当等

売上高と営業利益の推移



売上収益（売上高）・営業利益ともに成長を継続



* 現在FY2022進行中

連結業績（第3四半期累計）

売上収益、営業利益、税引前利益は**過去最高**を記録。

・情報基盤事業：

クラウド型のセキュリティ対策製品の需要が引き続き拡大。

・アプリケーション・サービス事業：

- ソフトウェア品質保証分野は受注が好調だが、サブスクリプション化が進展し、売上収益・営業利益の計上が繰延傾向。
- 教育分野は、増員による先行投資を積極的に投資継続中。

・医療システム事業：

事業統合したPSPの医用画像管理システム (PACS)は順調。クラウドシフトはこれから。

(百万円)

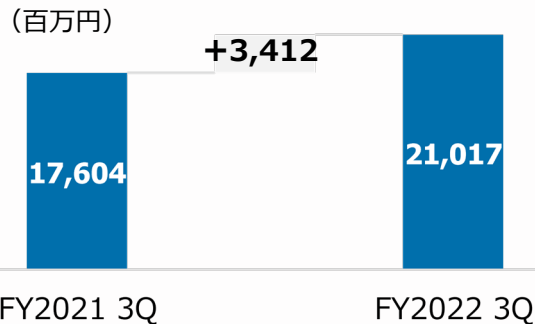
	FY2021 3Q	FY2022 3Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	25,098	32,285	+7,187	+28.6%
営業利益 (営業利益率)	2,416 (9.6%)	2,828 (8.8%)	+412	+17.1% (△0.8P)
税引前利益	2,404	2,807	+403	+16.8%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	1,569	1,577	+7	+0.5%

セグメント別の業績（第3四半期累計）

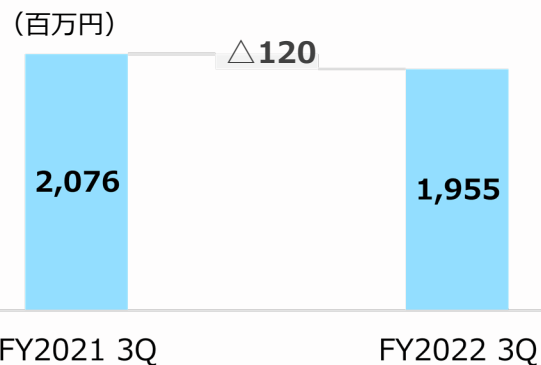
- ◆ **情報基盤事業**は、クラウド型のセキュリティ対策製品の需要が引き続き拡大
- ◆ **アプリケーション・サービス事業**は、ソフトウェア品質保証分野においてサブスクリプション化の進展により、売上収益・営業利益の計上が繰延傾向。教育分野において増員による先行投資にあるため営業利益はマイナス。
- ◆ **医療システム事業**は、医療情報クラウドサービス・PHRアプリ「NOBORI」が順調。事業統合したPSPの医用画像管理システム(PACS) は順調。クラウドシフトはこれから。

情報基盤事業

売上収益

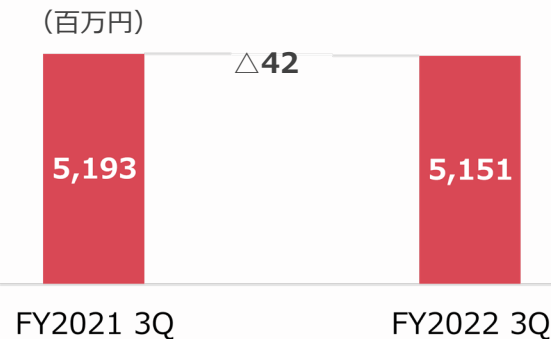


営業利益

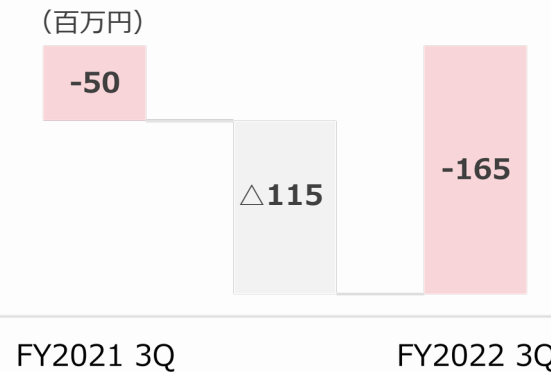


アプリケーション・サービス事業

売上収益

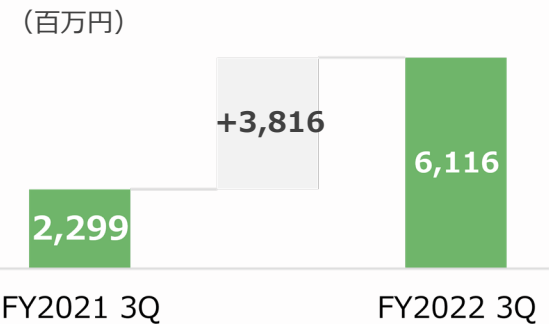


営業利益

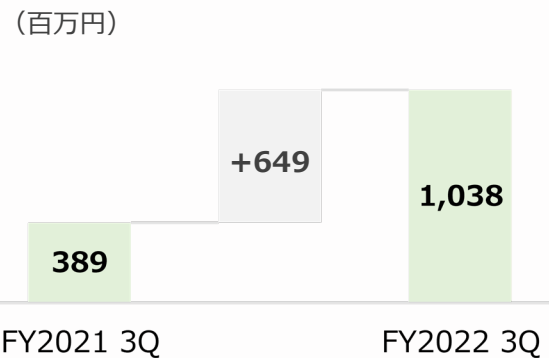


医療システム事業

売上収益



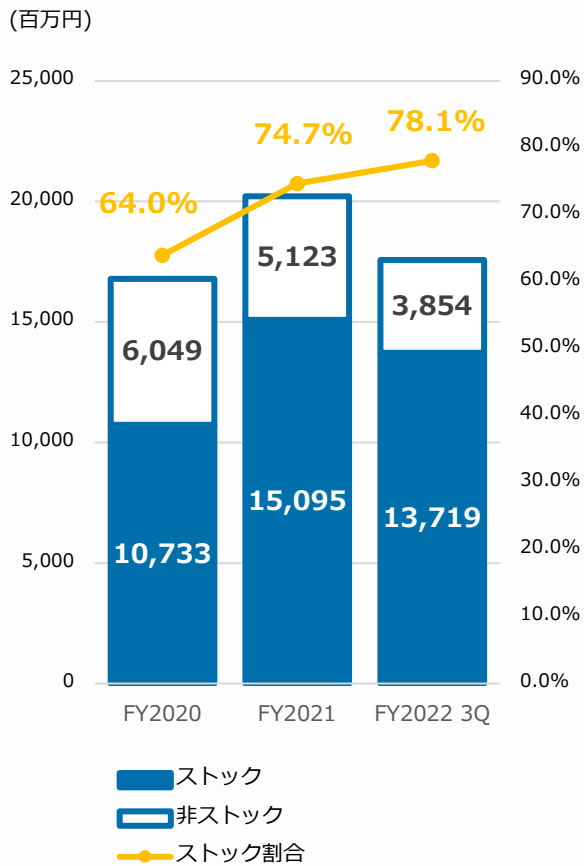
営業利益



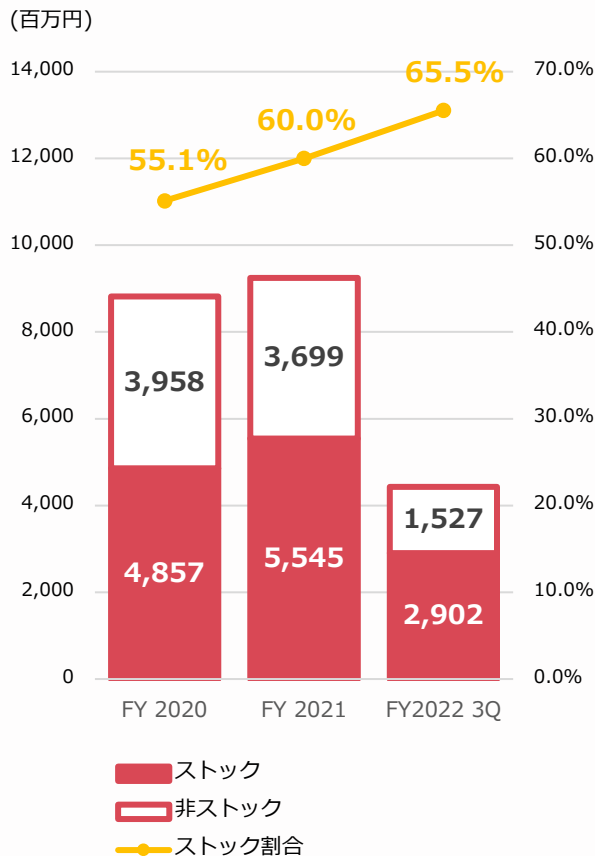
ストック比率の進捗状況（単体+PSP株式会社）

当社では、安定した収益基盤を構築するために、売上収益のなかでサブスクリプション型の契約等を中心とした継続取引の比率を示す「ストック比率」の向上を目指しております。

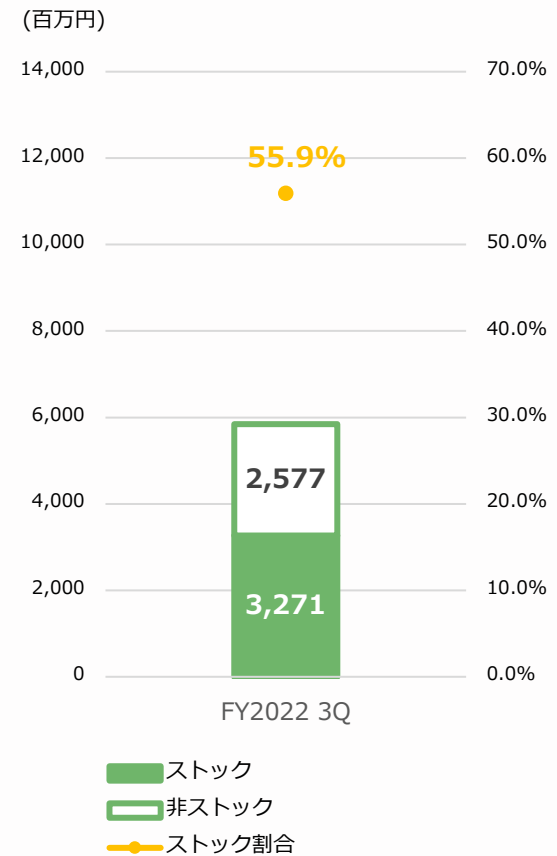
情報基盤事業



アプリケーション・サービス事業



医療システム事業



連結財政状態計算書（B/S）（第3四半期時点）

新収益認識基準の適用に伴い、本表「その他流動資産」に含まれる「前渡金」及び「その他流動負債」に含まれる契約負債のうち「前受金」が増加しております。

（百万円）

	FY2021	FY2022 3Q		FY2021	FY2022 3Q
流動資産合計	42,267	47,492	流動負債合計	27,989	33,997
現金及び預金同等物	18,155	16,334	営業債務及びその他の債務	2,158	2,258
営業債権及びその他の債権	5,925	4,573	借入金	595	570
その他流動資産	18,186	26,584	その他流動負債	25,236	31,169
非流動資産合計	10,236	14,667	非流動負債合計	4,311	6,090
有形固定資産	3,506	6,259	借入金	500	350
のれん	171	171	その他非流動負債	3,811	5,740
無形資産	1,752	2,051	資本合計	20,202	22,071
投資・その他の資産	4,805	6,184	資本金・資本剰余金合計	6,159	5,889
			自己株式	△975	△974
			利益剰余金	11,149	11,940
			その他の資本の構成要素	685	654
			親会社の所有者に帰属する持分合計	17,018	17,509
			非支配株主持分	3,183	4,561
資産合計	52,503	62,159	負債及び資本合計	52,503	62,159

本日のご説明内容

01

会社概要

02

業績推移と計画

03

当社グループの事業領域

04

SDGs、環境への取り組み

05

株価情報と配当等



情報セキュリティ
クラウドサービスを安全・快適に



**コンタクトセンター業務を
よりスムーズに**



医用画像管理を容易に安全に



交通機関の制御の安全性向上

情報基盤事業

- 最先端のネットワークセキュリティ製品やクラスターストレージの提供
- お客様の安全な情報基盤構築のために、設計・構築・保守に加え、24時間365日の運用監視サービスの提供

求められる情報セキュリティ対策

コンピュータシステムに侵入し、
重要な情報を盗み取っていくサイバー攻撃が社会の脅威に

不正アクセス

標的型攻撃

ハッキング

フィッシング



ランサムウェア

高レベルの情報セキュリティ対策が、求められている

ベストプラクティスの提供と高付加価値サービス



ベストプラクティスを高付加価値で提供



ディストリビュータビジネスにとどまらない
高度な運用監視サービス

クラウドセキュリティ

クラウドセキュリティの需要の高まり

<統一されたセキュリティポリシーの重要性>

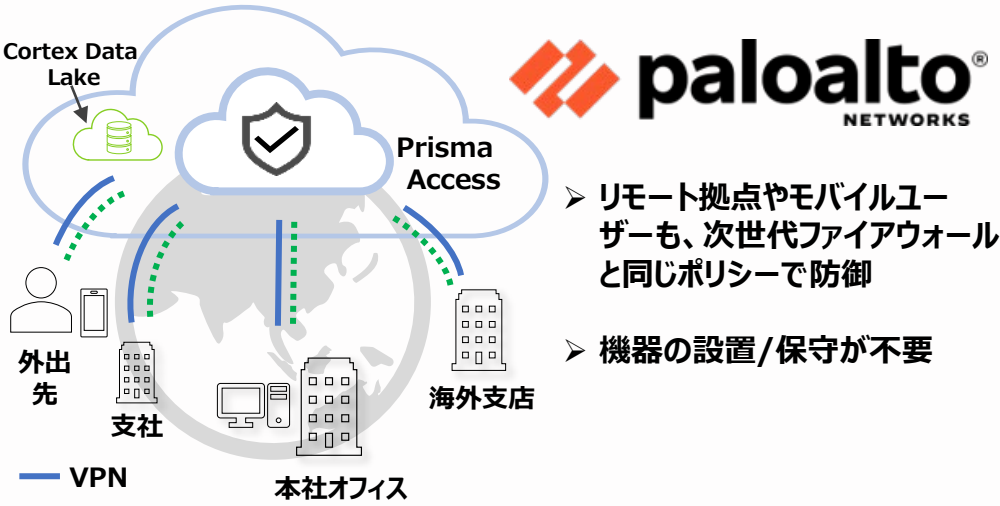
- テレワークの普及、他拠点企業におけるセキュリティポリシー統一の必要性が高まる

Point! ☞ デバイスや利用者のロケーションに依存しないセキュリティの提供

SASE : Secure Access Service Edge (サッシー) の略でネットワークとネットワークセキュリティを単一のフレームワークで提供するクラウドサービス

Palo Alto Networks Prisma Access

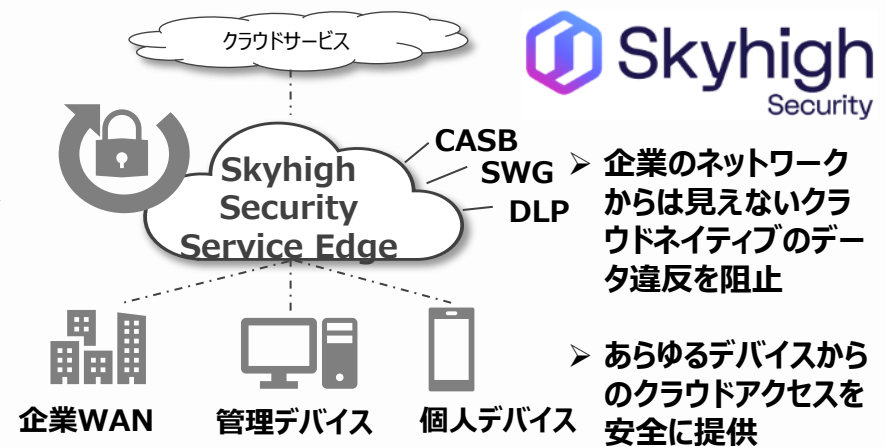
～次世代ファイアウォールの機能をクラウド上で提供～



- リモート拠点やモバイルユーザーも、次世代ファイアウォールと同じポリシーで防御
- 機器の設置/保守が不要

Skyhigh Security Service Edge (SSE)

～デバイスからクラウドまで網羅・一貫したデータ・脅威からの保護とコントロール～



- 企業のネットワークからは見えないクラウドネイティブのデータ違反を阻止
- あらゆるデバイスからのクラウドアクセスを安全に提供

TechMatrix Premium Support

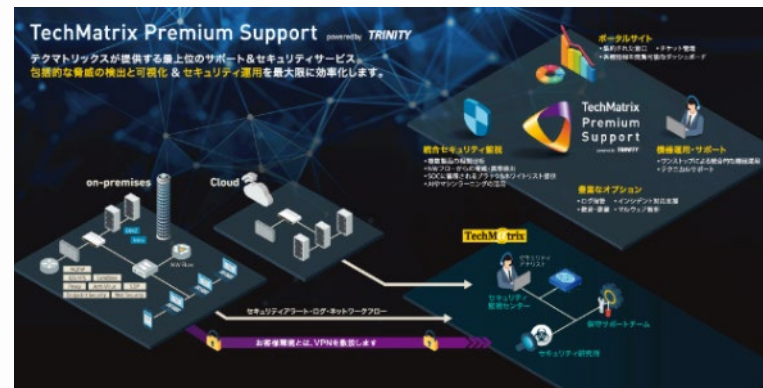
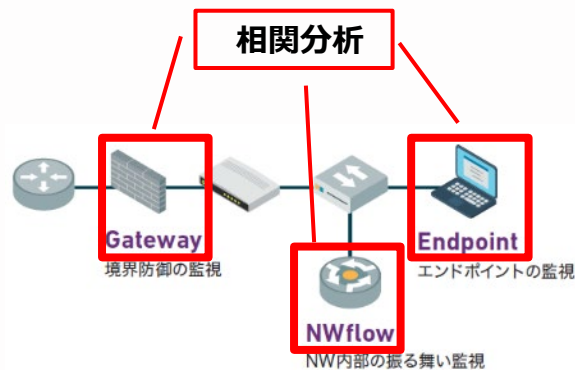
テクマトリックスが独自開発した、セキュリティ統合監視サービス「TechMatrix Premium Support」

Point ! 高度化、巧妙化するサイバー攻撃に対し、
『包括的な脅威の検出と可視化』×『セキュリティ運用』を最大限に効率化

■従来のデバイス単体監視の課題

- 1) 従来の単一製品の監視では、事象に対して『点』の分析となってしまう。
- 2) **各製品毎**に運用担当者や監視ベンダが異なることで、調査や情報連携、**一次対応が遅延**してしまう。
- 3) 暗号化通信の増加や巧妙化した攻撃手法により、**監視・分析が困難な通信が増加傾向**にある。

網羅的な統合セキュリティサービスを提供し『点』ではなく『面』で捉える



➤ ゲートウェイ、ネットワーク内部、エンドポイントの3点を軸とした網羅的な統合セキュリティ監視と**相関分析**を行い、**未知マルウェア**に対するセキュリティ対策基盤の強化を実現します。

アプリケーション・サービス事業

- CRM等の分野でクラウド事業を展開
- IoT時代の組み込みソフトウェア品質保証のためのテストツールの販売
- インターネットサービス・金融分野でのソリューション提供
- IT技術者の教育事業
- スクール・コミュニケーション・プラットフォームの提供



- クラウド = 雲
- インターネットを表す絵に雲を使っていた
- インターネットを経由して利用できるサービスをクラウドと呼ぶように

クラウドにより「所有」から「利用」へ

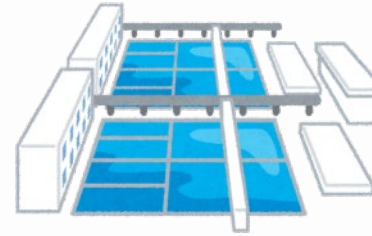
水

かつて



井戸

今は…



浄水場

必要な時に使う



コンピュータ
資源



ソフトウェア・ハードウェア



クラウド



クラウド経由で利用した分をお支払い

【CRM分野】コンタクトセンターCRMのクラウドサービス

顧客企業の優位性を高める コンタクトセンターCRMシステムを提供

- 商品の問い合わせ
- 購入後の問い合わせ



商品

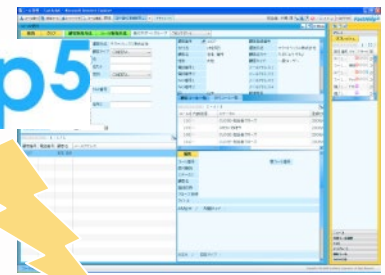
様々な方法での
問い合わせ

FAX 電話
LINE
E-Mail WEB

購入履歴や
過去のFAQ等を
一元管理

お客様の要望に
すぐ対応！

FastHelp5



顧客満足度UP！

【CRM分野】FastSeries導入事例

全労済様

こくみん共済 くみん共済 **〈全労済〉**
全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop**

お客様の問題解決支援と内部利用。促進によるお客様対応の均質化を実現。

日本コープ共済生活協同
組合連合会様

明日の暮らし、ささあいう
 **CO-OP 共済**

LINEチャットサポートを導入、24時間365日の顧客対応を実現。チャンネル拡大でより利便性の高いカスタマーサポートを提供。

株式会社ユーキャン様

 **生涯学習の
ユーキャン**

FastAnswer2を活用したFAQナレッジの共有で対応を平準化。

第一生命保険株式会社様

一生涯のパートナー

第一生命

 Dai-ichi Life Group

「チャットボット」×「人」のベストミックスで『働き方改革』を実現。

小林製薬株式会社様

 **小林製薬**

お客様からの意見、要望を集中管理。蓄積した情報は営業、研究、製造部門が共有。

株式会社ツムラ様

自然と健康を科学する
 **ツムラ**

FastHelp Peを活用してMRとの連携を強化。CTIシステムとの連携で東西窓口の一元化も実現。

株式会社ファミリーマート様

あなたと、コンビに、

 **FamilyMart**

店舗とお客様からの問い合わせに対応する3つのブースと8つの窓口を設置。窓口毎の入力画面最適化で運用コスト削減を実現。

シャークニンジャ株式会社様

Shark.

2018年7月に、北米の掃除機メーカーとして日本に上陸。カスタマー・サービス・ロジの3つのセンター間でのスムーズな情報共有を目的に、Fastシリーズを選定。

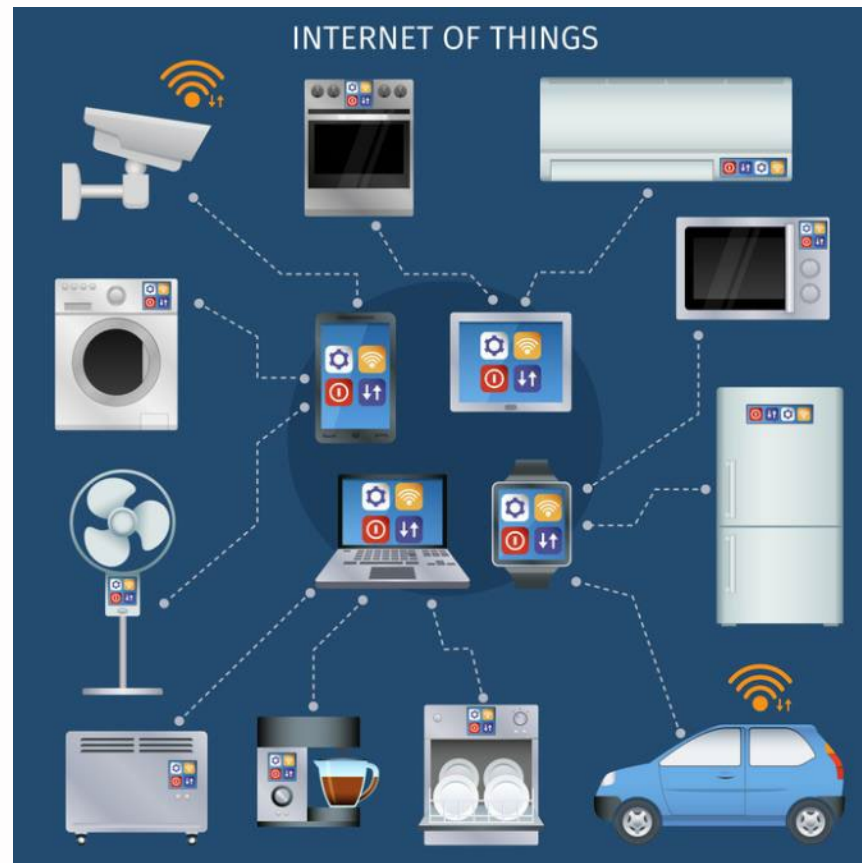
株式会社外為どっとコム様

 **外為どっとコム**

約7年ぶりにCRMシステムを刷新。「拡張性」「オペレーター目線での移行のしやすさ」「費用」3つのポイントを意識して選定。

※順不同

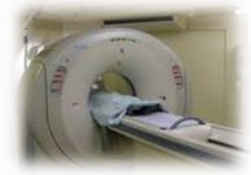
あらゆる物がインターネットに接続し、ソフトウェアで制御される
ことにより、あらゆる物がサイバー攻撃の対象に



【ソフトウェア品質保証分野】ソフトウェア品質向上支援

ソフトウェア品質向上のためのテストツールや開発を効率化する支援ツールの提供

規格準拠のコンサルタント



厳しい欧州の
安全基準に
日本でも適合必須

医療機器・自動車は
認証取得が必要に

認証を取得するに
はノウハウが必要

テストツールの販売からコンサルティングまでトータルでサポート



Parasoft C++test



Parasoft Jtest



Parasoft dotTEST



Parasoft Insure++

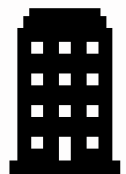
PARASOFT.
SOAtest / Virtualize



【ビジネスソリューション分野】金融機関向けリスク管理

皆様の金融資産を預託・運用している、様々な金融機関の 安全性を保つためのリスク管理システムを提供

個人や企業の
金融資産



**様々な金融機関
(機関投資家)**

銀行	信託銀行
生保会社	損保会社
証券会社	FX業者
信用金庫	共済組合
	...

様々な運用商品

債券	株式
投資信託	先物為替
デリバティブ	
預貸金	...

市場リスク、信用リスク、価格変動リスク、為替変動リスクが潜在



金融資産（ポートフォリオ）に対する
様々なリスクを多角的に計測

教育分野におけるクラウド型サービス、「ツムギノ」 ～スクール・コミュニケーション・プラットフォーム～



ツムギノ (tsumugino) : 学びを 未来へ 紡ぐ + innovation

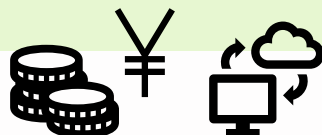
➤ 統合コミュニケーションプラット・フォーム + 校務支援システム「typhoon」をもとにした
クラウド型サービス

教職員の負担軽減



各種情報を一元管理
教職員の共有・発信も容易
→ **充実した教務・校務支援**

投資コストの負担低減



機器への投資不要
最新のセキュリティを適用
→ **月額利用のクラウド型**

子どもが主役のシステム



子どもの日々の活動を記録
(周囲のフィードバックも)
→ **学びの履歴を蓄積**

優れたUI/UX



デザイン性・操作性◎
マルチデバイス対応
→ **容易なコミュニケーション**

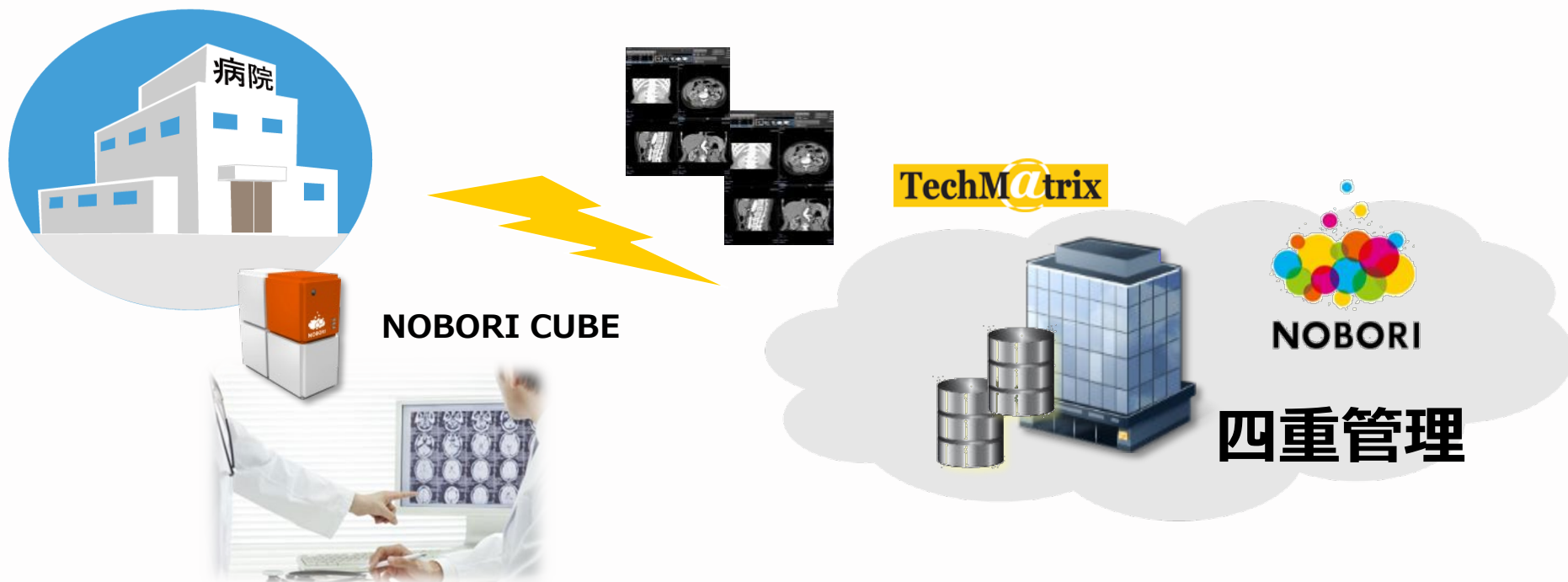
学校教育をこれまでの全員一斉・受動型から、自主的・探究型へと進化
子ども一人ひとりの未来への可能性を広げます

医療システム事業

- 医用画像管理システム（PACS）の提供
- PHRサービスの提供
- 遠隔読影のプラットフォームを提供

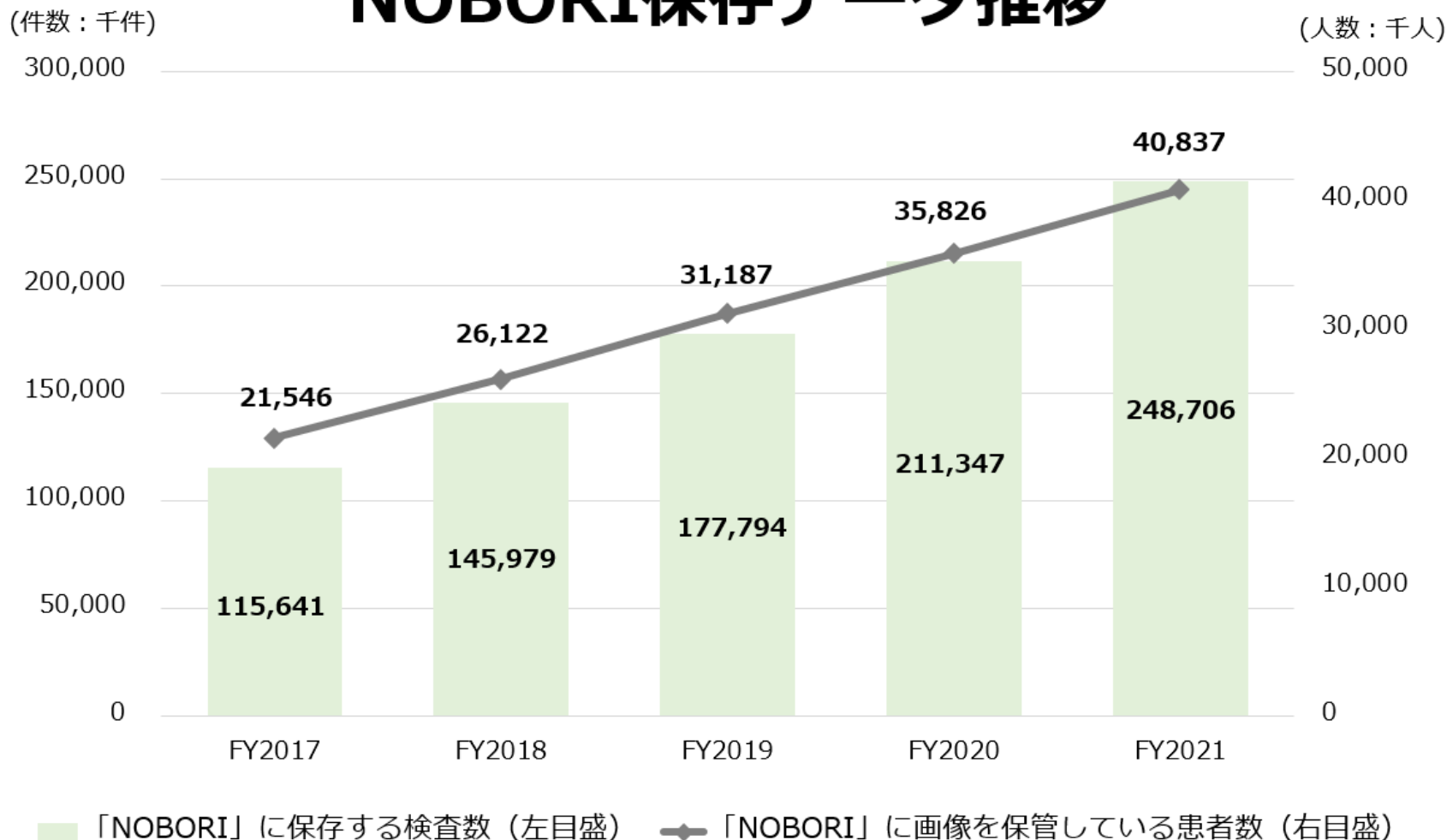
医療施設で撮影されたCT、MRI画像等の医療情報を安全に保管・利用できるクラウドサービス「NOBORI」の提供

初期投資ゼロ！ IT技術者確保不要！ スペース確保不要！



- 低価格・短期間で導入できるNOBORIにより医療クラウドサービス市場において先行
- 大規模病院の成約に加え、パートナー営業強化により、今後も契約数は順調に推移する予定
- NOBORIユーザが利用できる、検査予約サービス等のアプリケーションをNOBORI PALで提供

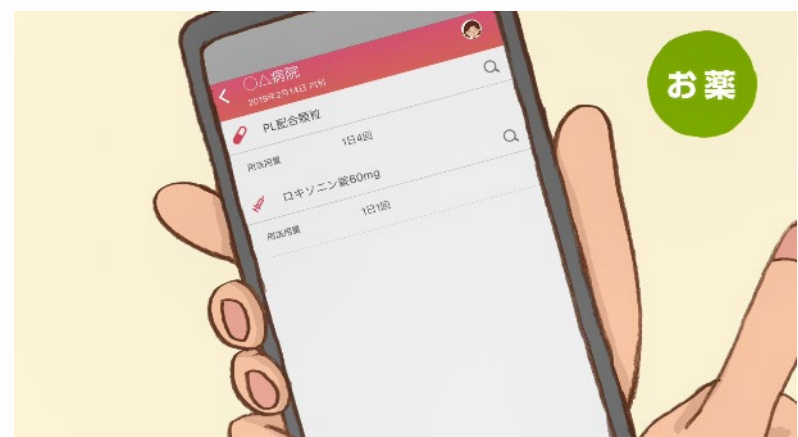
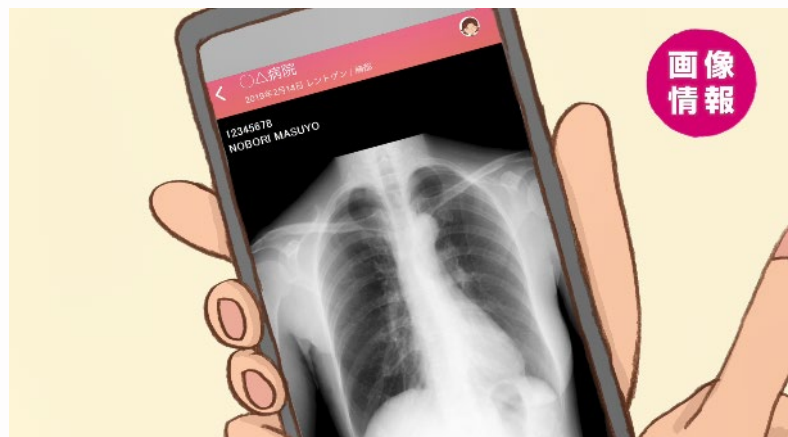
NOBORI保存データ推移



【医療分野】BtoC向け新サービス

NOBORI

個人向け(患者様向け)のPHR (Personal Health Record) サービス



【医療分野】ヘルスケア業界におけるデジタル化

パーソナルヘルスレコード（PHR）のソフトウェア、2027年の市場規模が1,320万米ドル到達予測

■市場成長の要因

①各国政府の取り組みの増加

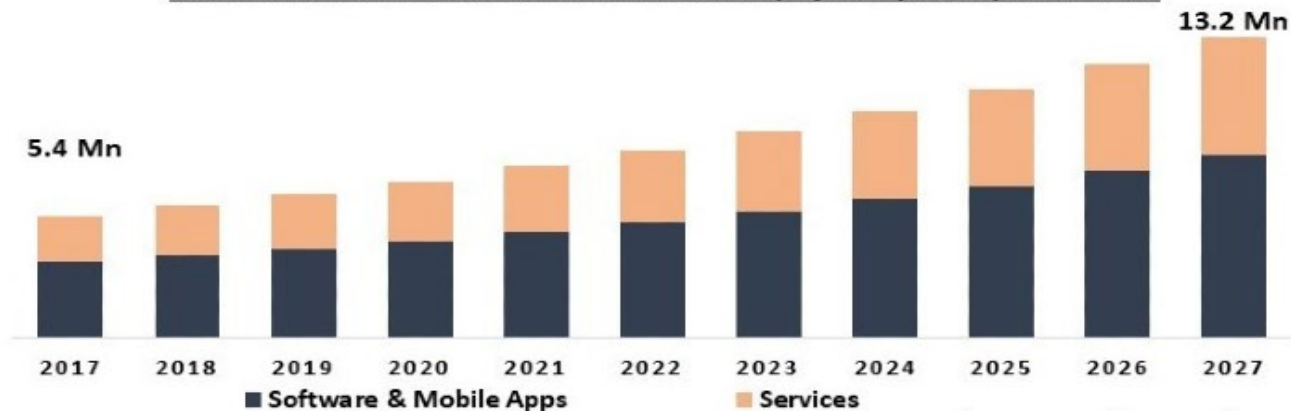
ヘルスケアのペーパーレス化を推進する政府の取り組みが各地域で活発化。医療機関を利用する際に複数の書類や処方箋を持ち歩く負担から、患者は個人用パーソナルヘルスレコードソフトウェアを選ぶようになっている。

②ヘルスケア業界におけるデジタル化の進展

世界的にデジタル化が進んでおり、特にヘルスケア分野では、より高度でコンパクト、かつ利便性の高い技術やソリューションが求められている。PHRソフトウェアは、医師と患者の住所、患者のアレルギーなど、さまざまな情報を個人の健康記録を保持するのに役立ち、ヘルスケア管理を向上させる。

パーソナル健康記録ソフトウェアの世界市場（コンポーネント別）

Personal Health Record Software Market Size, By Component, 2017 - 2027



Source: www.kbvresearch.com

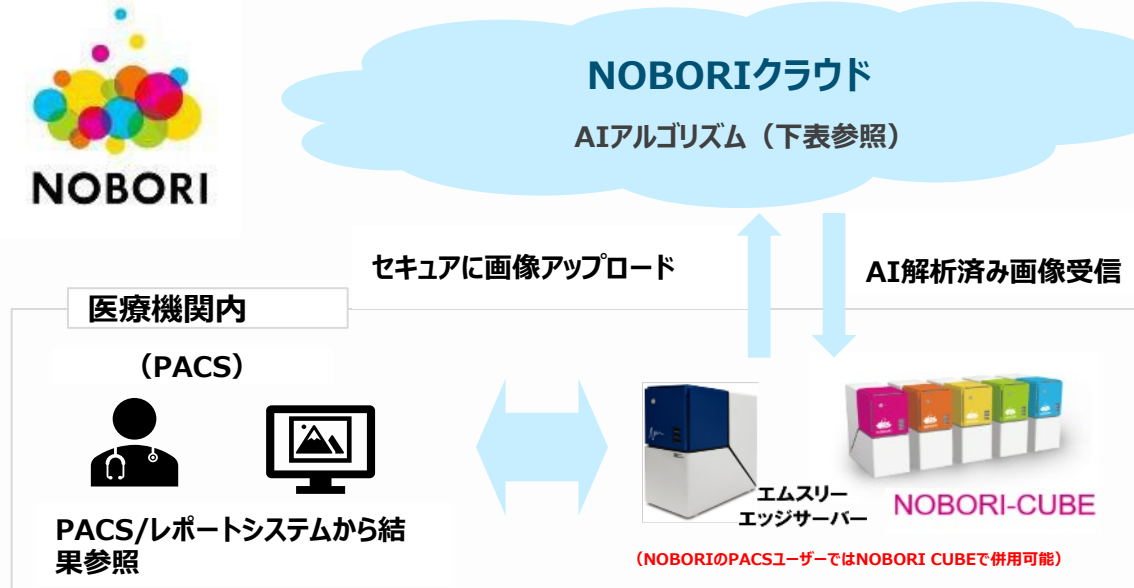
出典：株式会社グローバルインフォメーション

「パーソナル健康記録ソフトウェアの世界市場：コンポーネント別、アーキテクチャタイプ別、展開モード別、地域別展望、産業分析・予測（2021年～2027年）」（KBV Research）

【医療分野】AIプラットフォーム事業

NOBORI

エムスリー株式会社と業務提携、両社にて医用画像診断支援AIプラットフォーム事業を推進



病状	AI開発企業	補足
脳動脈瘤	エルピクセル* *当社は2018年に同社へ出資しています。	・ 脳の血管から脳動脈に似た候補を検出
肺がん		・ レントゲン画像から肺がんの疑い部位を検出
新型コロナウイルス	アリババ・エムスリー	・ 肺炎の有無を判別
肺結節	ビューノ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国で100万件以上の画像をもとに開発 ・ 2020年10月に取扱開始

事業統合の目的

NOBORI Ltd.

TechMatrix Group

PSP株式会社

Public and social system Solution Provider

顧客基盤

サービス・製品

開発計画



2022年4月1日 統合・集約

製品・サービスの機能と品質の
更なる向上

顧客数・売上ベースで市場シェア2位を
確保 (2,200施設)

技術リソース再配置で
PHR/AI/データ利活用など
新事業を加速

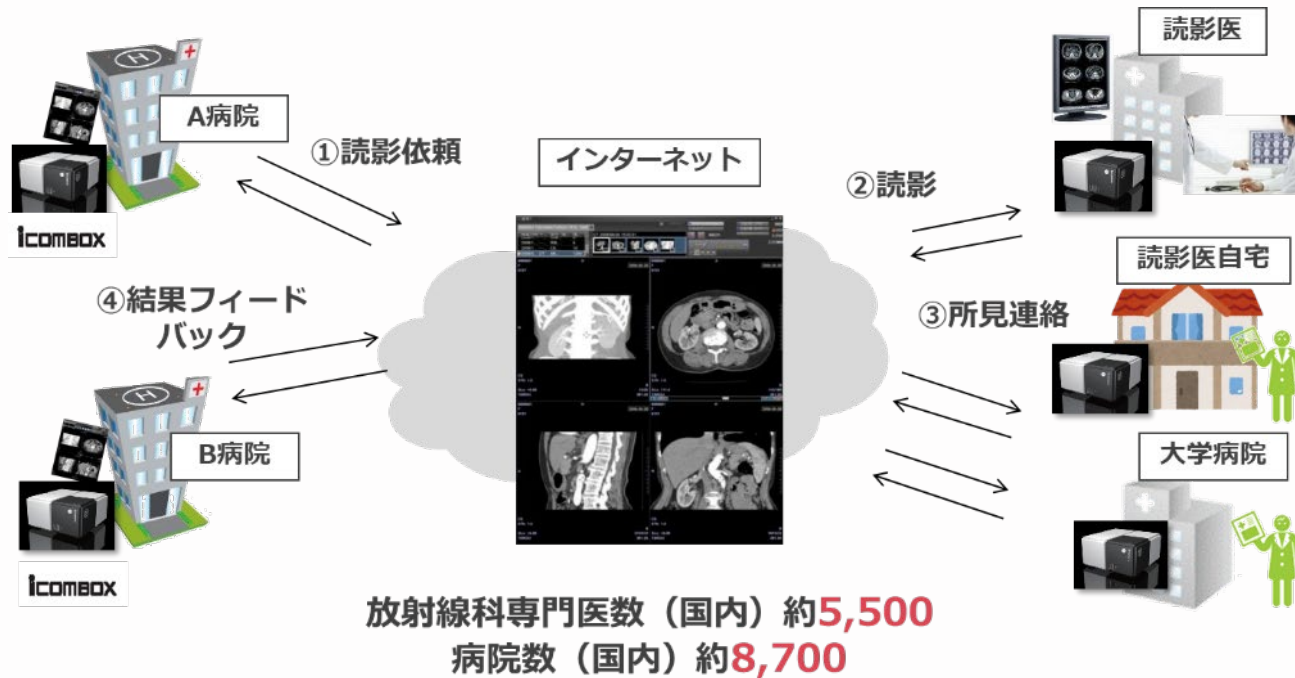
クラウドでの更なるデータ集積PHR利用
者/施設の増加

【医療分野】合同会社医知悟

2008年4月のサービス開始より接続拠点数 650拠点以上

月間の依頼検査数 約20万件（シェア約34%※） ※矢野経済研究所調べ

登録利用読影医1,400名以上でインフラとしてはシェアNo.1



「iCOMBOX」を用いた遠隔画像診断を支援する
プラットフォームの提供

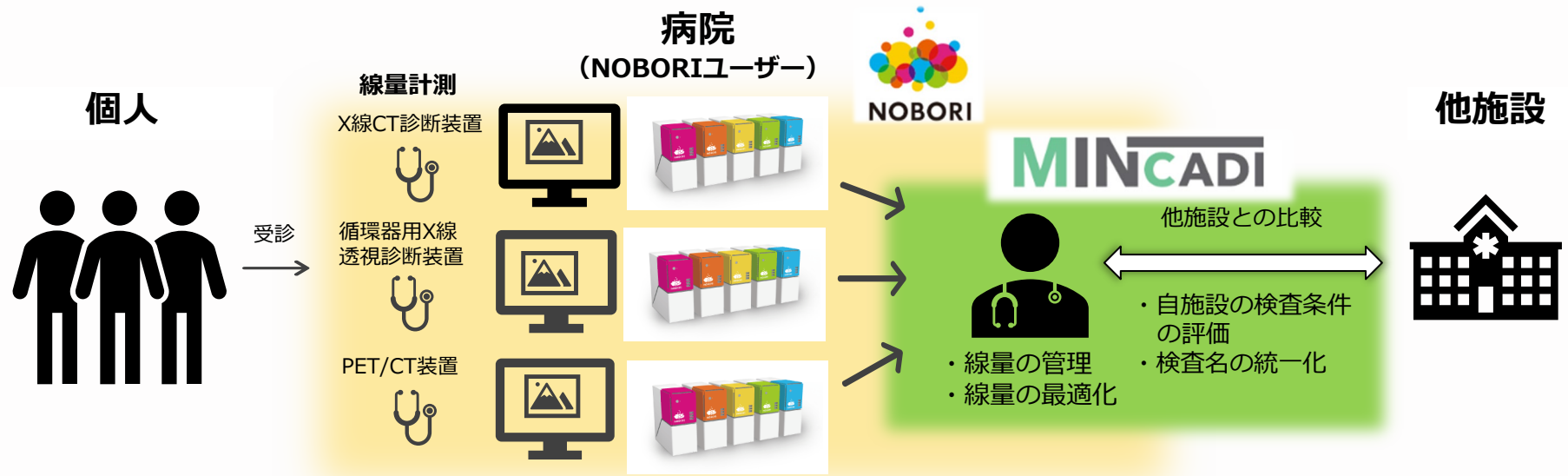
【医療分野】株式会社A-Line

医療被ばく線量の管理システム「MINCADI」の提供

MINCADI：医療画像やCTなど画像検査装置より得られる情報を自動取得し、患者毎の医療被ばく線量、検査毎の撮影条件を管理、最適化するソリューション

<医療分野における線量管理>
Point! 2020年4月1日 法改正による医療被ばくの線量記録および線量管理の義務化
 (対象：X線CT診断装置、循環器用X線透視診断装置、PET/CT装置、SPECT/CT装置および診療用放射性同位元素)

<イメージ図>



本日のご説明内容

01

会社概要

02

業績推移と計画

03

当社グループの事業領域

04

SDGs、環境への取り組み

05

株価情報と配当等

サステナビリティの取り組み

持続可能な社会の創造に向けて、当社の事業活動とソリューションの提供を通じてSDGsの達成に貢献。



環境への取り組み（TCFD提言に基づく情報開示）

気候変動への対応を重要な経営課題の一つと認識。具体的な数値目標を設定し、毎年現状を数値化して、カーボンニュートラル達成に向け活動を推進。

STEP 1 目標

GHG排出量目標

目標

気候変動への対応は重要な社会課題であると認識し（2022年）当社グループの事業活動に伴うCO₂排出量を2030年度（※1）までに2020年比（※2）で46%削減する目標を設定しました。

目標値を設定した理由

- SBT基準（1.5°C）：△4.2%/年×10年=△42%～
- 政府目標2020年△46%（2013年比）

対象範囲 **当社単体**
※順次、連結対象会社を追加対象範囲を拡大する予定（SCOPE1・2対象）

※1. 目標年は目標設定年（2022年）の5～15年後に設定する必要があります。（ここでは、8年後の2030年と仮設定しています）
 ※2. 基準年は目標設定年（2022年）以前で、データが採取できている年を設定します。

ネットゼロ目標

目標

当社の事業活動に伴い排出されるGHGの内、約73%が電力由来、残り約27%が空調におけるガス利用から排出されるものです。これら電力やガスは主に事業所（本社・支社・営業所）で利用しています。今後、事業活動における電力は再生可能エネルギー由来に変更し、残るGHG排出はJクレジット・グリーン電力証書・非化石証書等の購入により相殺し、事業活動に伴う全てのGHG排出量について、2050年までにカーボンニュートラルを達成させる目標を設定しました。

目標値を設定した理由

- SBT基準（1.5°C）：△4.2%/年×28年=△117.6%～
- 政府目標2050年カーボンニュートラル（ネットゼロ）

対象範囲 **全社**（SCOPE1・2対象）

* 詳細は当社ホームページにも開示しております

STEP 2 現状把握



本日のご説明内容

01

会社概要

02

業績推移と計画

03

当社グループの事業領域

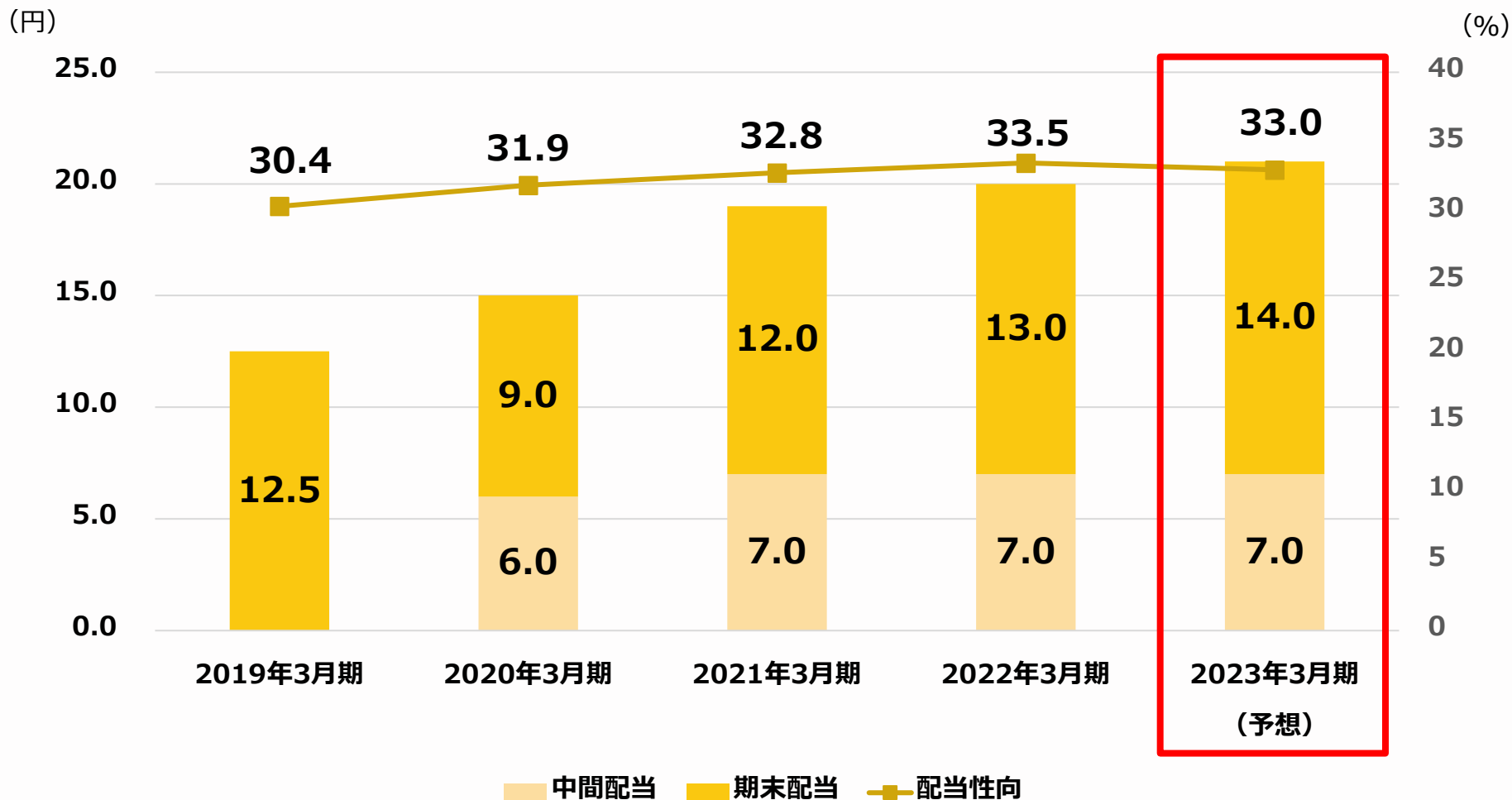
04

SDGs、環境への取り組み

05

株価情報と配当等

株主還元 配当金

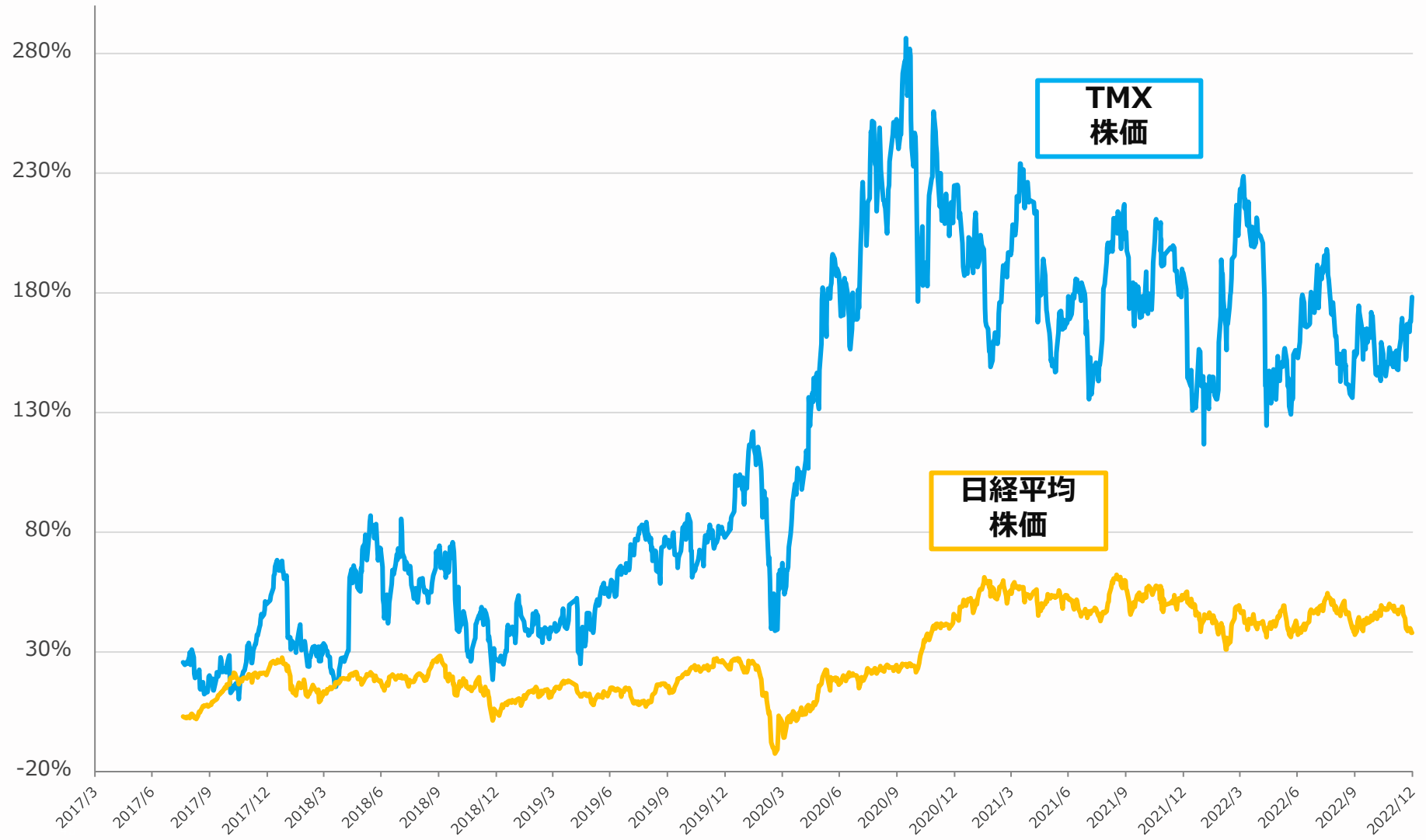


※2017年3月1日及び2020年7月1日付で、それぞれ株式1株につき2株の株式分割を行っておりますため、過年度の配当実績額につきましては株式分割が行われたと仮定して表示しております。

株価パフォーマンス

■ 2017年3月末を基準とした際の日経平均株価との対比

* 2020年6月末日を基準日として実施した株式分割を考慮して表示しています。



株主還元 株主優待

500株以上の当社株式を保有する方に対して株主優待を実施。

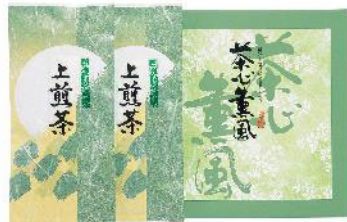
1,500円相当
(500株～1,000株未満保有の株主様)



北海道 鮭三昧



帝国ホテルカレーセット



静岡茶詰合せ



フリーズドライギフト



ひとつえ
黒わらび餅

4,000円相当
(1,000株以上保有の株主様)



松坂牛 すき焼用



デミグラスハンバーグ



いくら醤油漬け



有機栽培
ドリップコーヒー



神戸スイーツ
牧場アイスクリーム

<寄付>

保有株式数に応じた金額を、

「公益財団法人 日本ユニセフ協会」または**「一般財団法人 あしなが育英会」**へ寄付頂くことができます。

※2022年9月30日現在で、当社株主名簿に記載または記録された、500株以上の当社株式を保有する株主様が対象。

ご清聴ありがとうございました。

Appendix

中期経営計画

「BEYOND THE NEW NORMAL」

TMX 3.0 の事業戦略は引き続き継続

- **クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進**
- **セキュリティ&セイフティ（安心と安全）の追求**

TMX 3.0 の事業戦略は引き続き継続

- ・ クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進
- ・ セキュリティ&セイフティ（安心と安全）の追求

テーマ

コンテンツ 戦略

1

取扱製品の拡大・新規サービスの立ち上げ

2

サービス化の加速（サービス比率拡大）

3

データの利活用（AIの利用を含む）

外部 戦略

4

多様なアライアンス・M&A（既存事業の拡充と新規事業の創出）

5

海外市場での事業の拡大

内部 戦略

6

グループ間連携の強化によるシナジーの創出

7

人材育成/組織開発（ダイバーシティの推進含む）

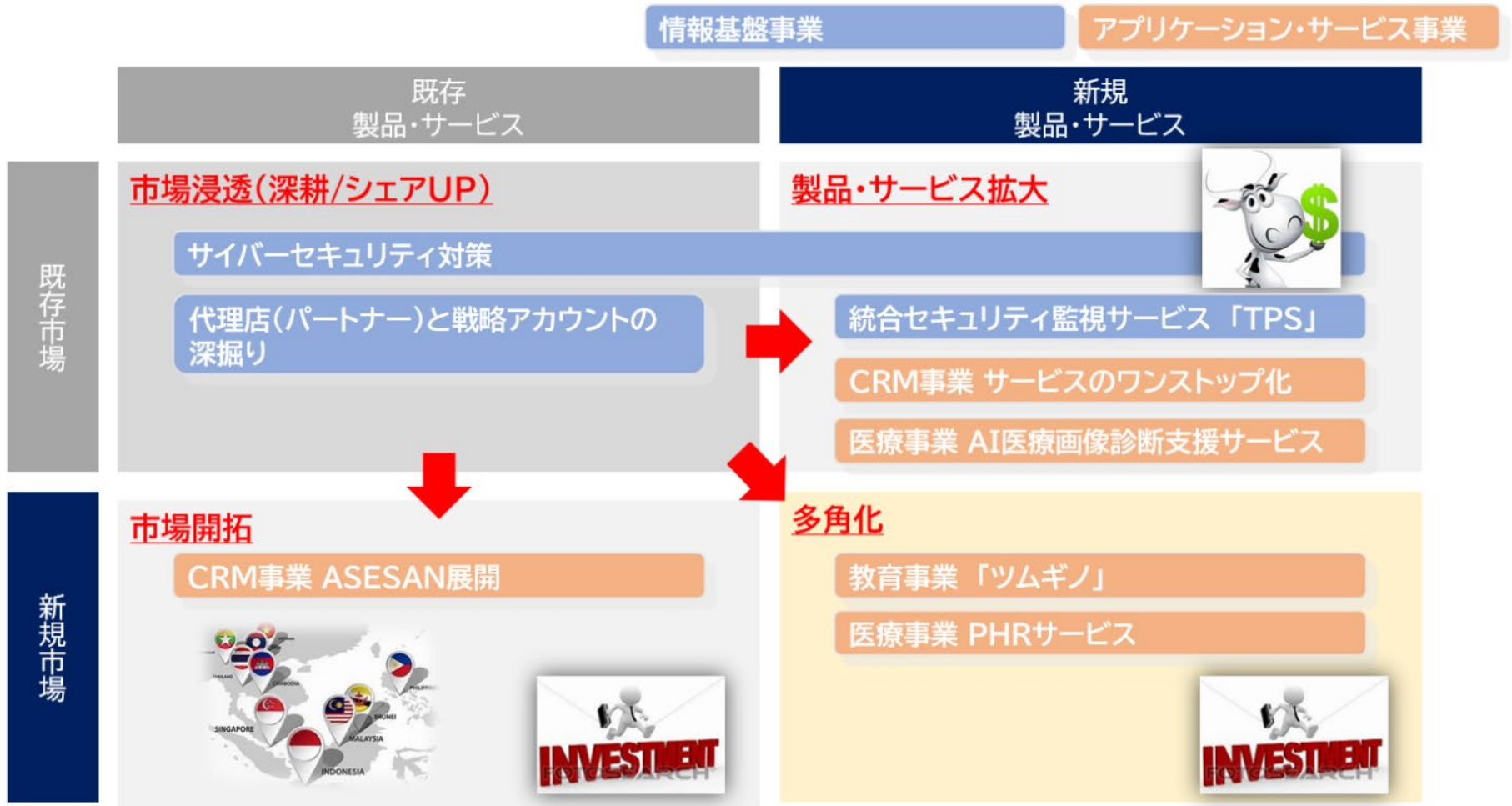
主要な基本戦略

情報基盤事業

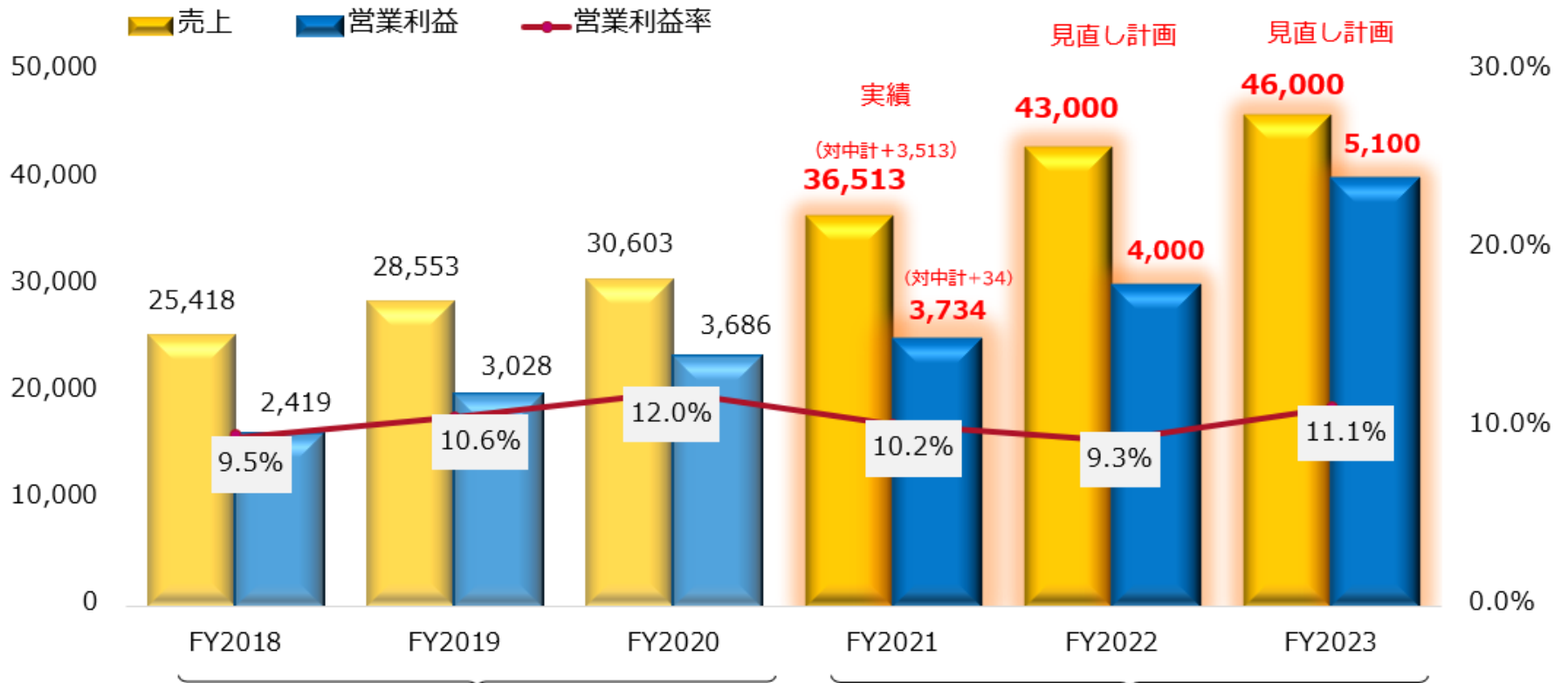
- ・取扱製品/サービスの拡大
- ・代理店(パートナー)と戦略アカウントの深掘り
- ・プロダクト組織とアカウント組織のマトリックス化
- ・専門性の更なる強化と技術力の可視化 (保守対応の可視化、技術情報発信など)
- ・統合監視セキュリティサービス(TPS)の拡販
- ・センター集約型ビジネスの拡大(付加価値の追求)
- ・サブスクリプション販売への移行促進(ストックビジネス強化)

アプリケーション サービス事業

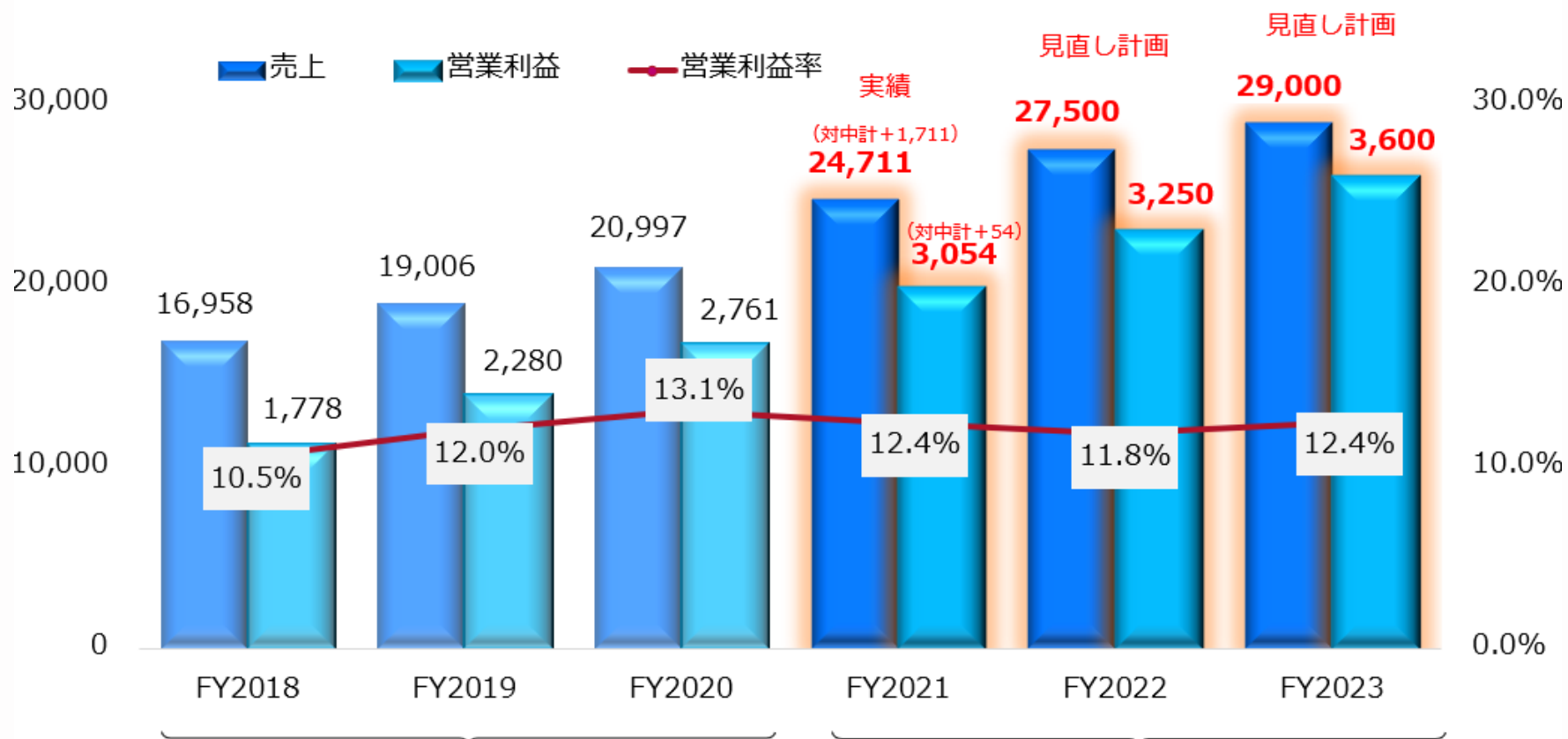
- ・教育事業の垂直立上げに向けた積極投資
- ・AI医療診断支援サービス事業の加速
- ・PHR事業の拡大
- ・CRMサービスのワンストップ化に向けた他ベンダーとの連合・グループの組成
- ・グローバル展開(ASESAN)の加速
- ・AI技術を活用した製品/サービスの創出
- ・ポートフォリオの拡充(ソフトウェア開発基盤ソリューションの独自開発等)
- ・ツールを活用した第三者テスト/検証市場への参入
- ・独自のビジネス分析ソリューションの開発・提供



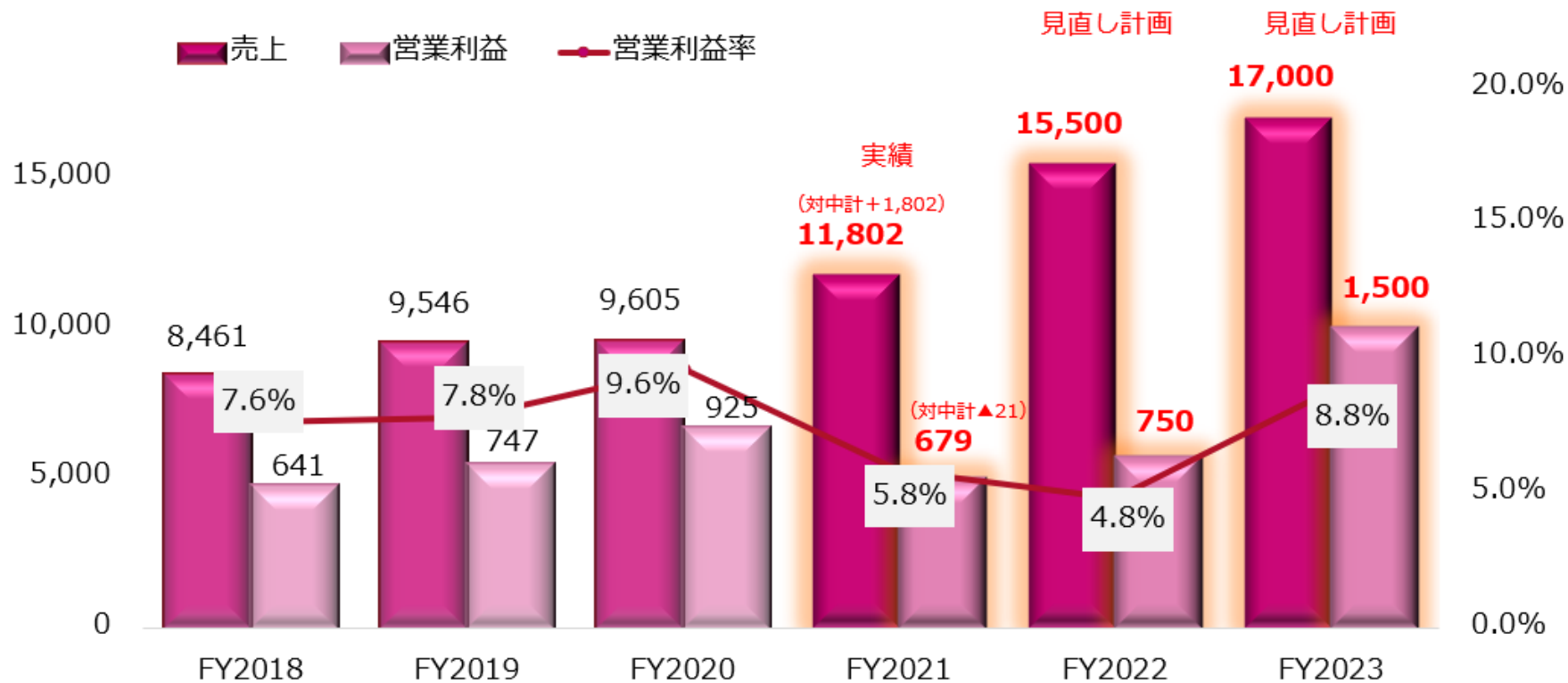
売上収益（売上高）・営業利益ともに成長を継続



安定した収益基盤の構築とクラウドネイティブ時代への適応

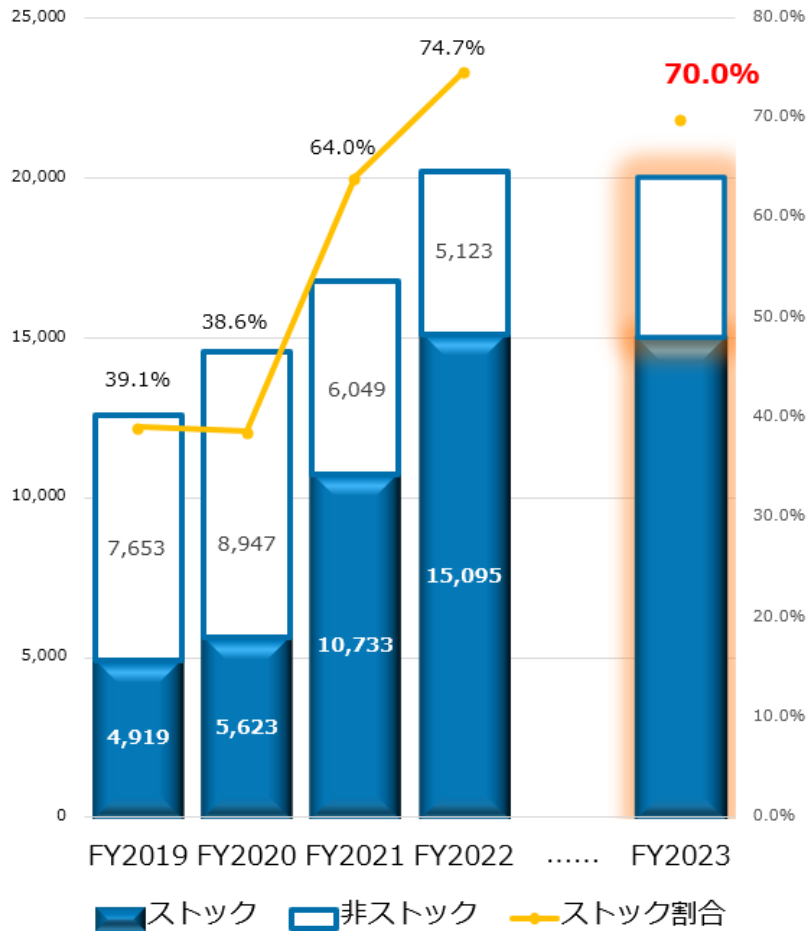


投資と成長のバランス

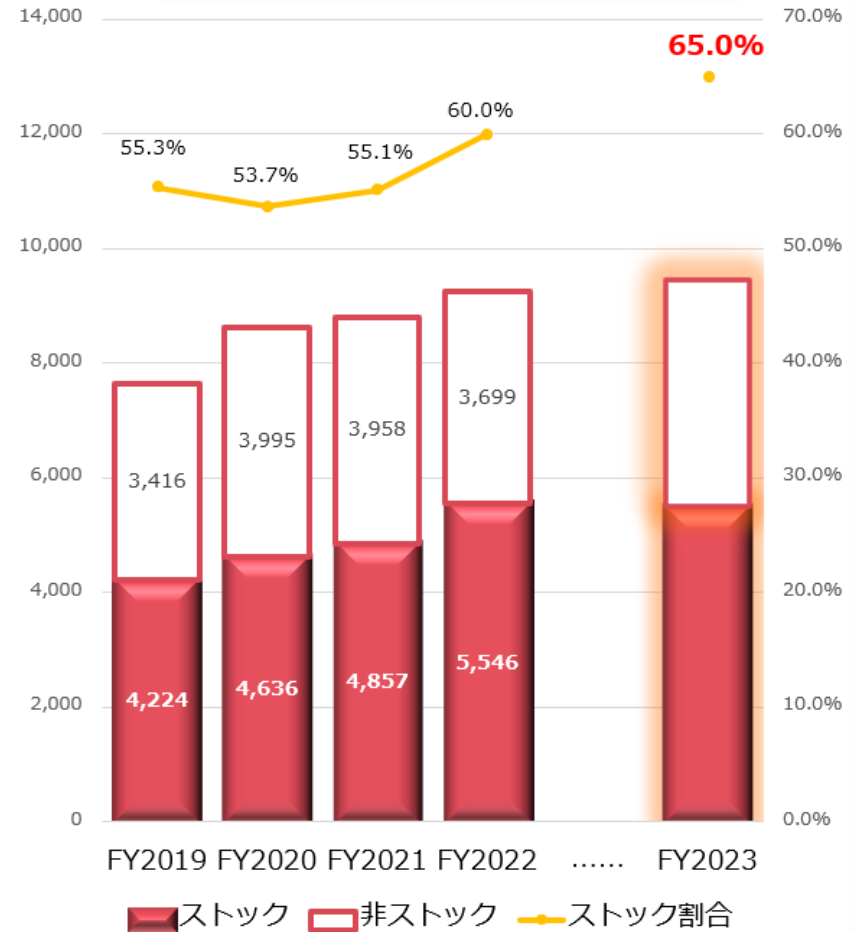


ストック比率計画値（連結）

情報基盤事業



アプリケーション・サービス事業





<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや確実性がありますことを、予めご了承ください。

<お問合せ先>

テクマトリクス株式会社 経営企画課 TEL:03-4405-7802 ir@techmatrix.co.jp